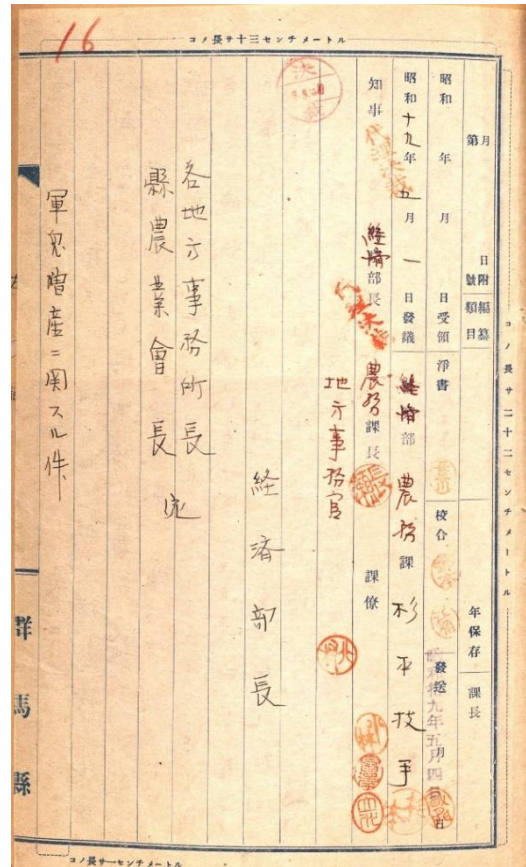
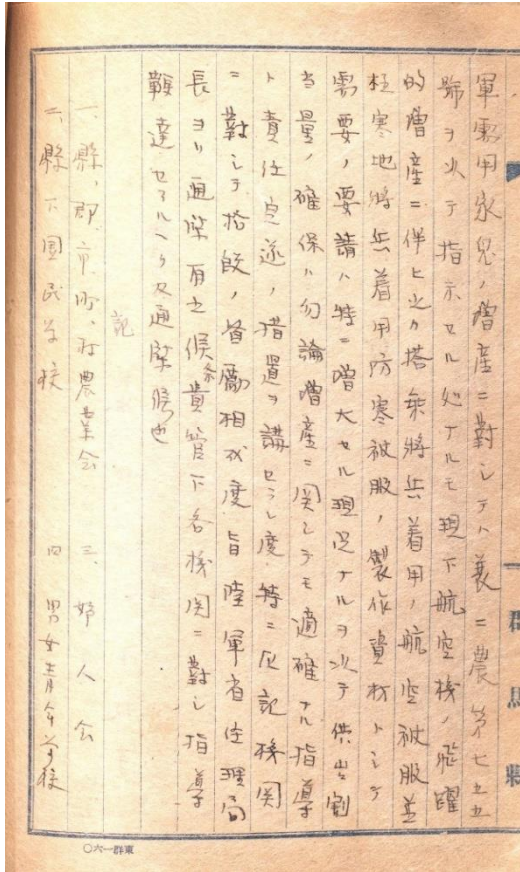


22 ウサギの供出 きょうしゅつ

昭和19年(1944)

軍需用兎の増産を全県に督励した通達です。兎は航空機乗組員や極寒地の兵士のための防寒着や食料として使用されました。

群馬県行政文書「軍用兎増殖関係」(A0384A0G 1774)



昭和十九年五月一日 經濟部農務課 杉本技手

各地方事務所長 宛

県農業会長

軍兎増産ニ関スル件

經濟部長

軍需用家兎ノ増産ニ対シテハ曩ニ農第七五五号ヲ以テ指示セル処ナルモ現下航空機ノ飛躍の増産ニ伴ヒ之カ搭乘將兵着用ノ航空被服並極寒地將兵着用防寒被服ノ制作資材トシテ需要ノ要請ハ特ニ増大セル現況ナルヲ以テ供出割当量ノ確保ハ勿論増産ニ関シテモ適確ナル指導ト責任完遂ノ措置ヲ講セラレ度、特ニ左記機関ニ対シテ格段ノ督励相成度旨陸軍省經理局長ヨリ通牒有之候 貴管下各機関ニ対シ指導鞭撻セラルヘク及通牒候也

記

一、県、郡、市、町、村農業会 三、婦人会
二、県下国民学校 四、男女青年学校